

台湾専門家らと建設発生土に関する技術交流、意見交換

環境法・公共政策分野の専門家を招聘

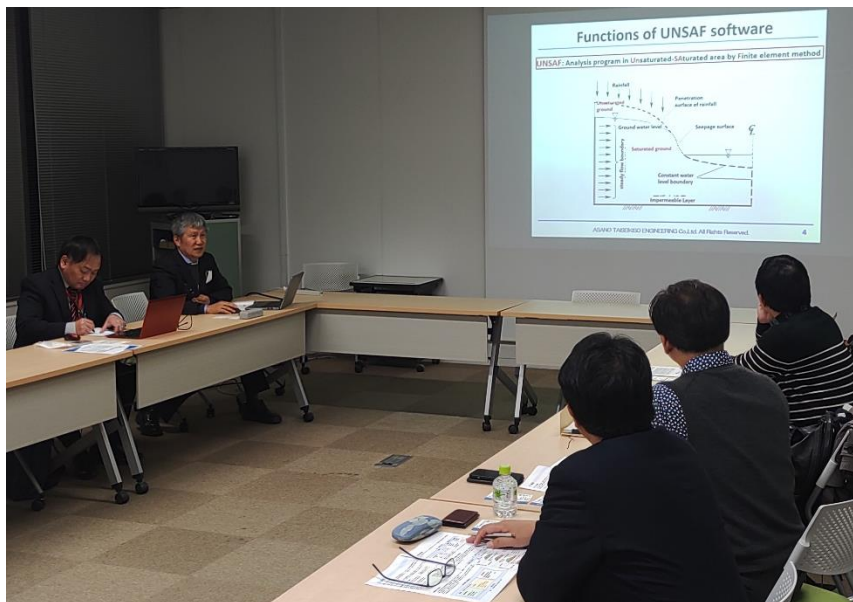
2024年1月16日、台湾及び国内の環境法・公共政策分野の専門家を当社へお招きし、建設発生土の国内での対応や当社技術に関する説明、ディスカッションを行いました。

来社いただいたのは、王毓正副教授（台湾・国立成功大学法律学科・環境法）、宋威穎助理教授（台湾・弘光科技大学・公共政策）、奥田進一教授（拓殖大学政経学部・環境法・民事法）の3名です。

建設発生土に関する日本国内での対応の調査・研究を目的として王副教授、宋助理教授が来日し、奥田教授とともに対応しました。当日は、地方自治体へご案内し残土対策の行政担当者、環境対策監へのヒアリングを実施したのちに来社いただきました。当社から、「建設発生土の三次元解析技術による実務状況」（事業推進本部地盤コンサルティング事業部 孫躍）、「建設発生土の自然由来重金属への対応」（事業推進本部土壌環境事業部 熱田真一）について説明したのちに、質疑応答、ディスカッションを行いました。

王副教授からは、「日本での官民双方の取り組みについて、実態を深く調査することができました。特に、アサノ大成基礎エンジニアリングでの3D解析技術や土壌分析の知見については興味深く伺いました。台湾との比較法研究の観点で研究を進めるためにも、たいへん有意義な訪日となりました」とのコメントをいただきました。

以上



建設発生土に関する日台・官民それぞれの取り組み等についてディスカッションを行いました